

進路用写真撮影について

11月13日(木)は進路用写真撮影日です。卒業アルバム用の写真撮影とは必要な準備が異なります。写真屋さんから次のようにアドバイスをいただきました。

受験用写真は本人確認の意味だけではありません。その服装や表情から、中学生として学校を受験する意思や資格が備わっているかどうか判断される場合もあります。たった一枚の写真から受ける印象で、その人物の第一印象はある程度決められてしまいます。

アルバム用の写真とは違い、初めての公式な証明写真です。

① 撮影前に注意してほしいこと

(1) 髪型

- ・証明写真は、眉毛や眼が写らないと本人と確認ができません。
- ・撮影時の照明で影が倍になり、眉毛や眼が隠されてしまうこともあります。
- ・また、光は強く、薄く剃られた眉毛はさらに薄く写ってしまいます。

(2) えり元

ネクタイは正しく美しく、ゆるみなく結ばれ、まっすぐについていますか。

えり元の乱れは特に注意が必要です。性格が判断されます。

(3) その他

- ・受験当日に眼鏡をかける人は、眼鏡をかけて撮影します。
- ・校章、クラス章、名札を正しくつけてください。
- ・胸ポケット、内ポケットには何も入れないでください。
- ・制服に目立つホコリ、汚れは周りの友人、先生に確認してもらいましょう。

② 撮影時

背もたれを使わず座り、背筋をしっかりと伸ばす。

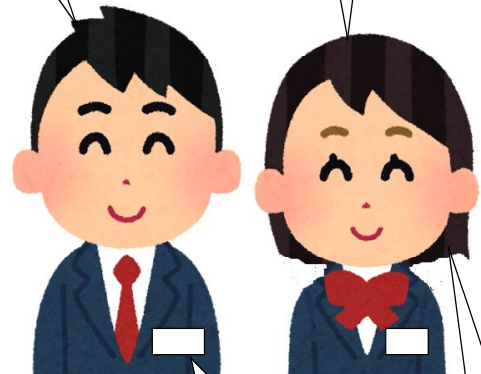
上着のしわを直し、腕をまっすぐ下におろす。

肩の力を抜き、軽くあごを下げ、落ち着いた気持ちでまばたきに注意する。

これらのアドバイスをもとに、散髪を予定するなど準備をしてほしいと思います。(男子はひげを剃っていないくて撮り直しということもありました。)

眉毛が出るように

前髪で影を作らない



名札バッジをつける

肩につく髪はしばる